

広島市市民農園指定管理者の業務実施状況（平成 29 年度）の概要・評価

1 施設名及び指定管理者等

(1) 施設名及び所在地	広島市見張市民農園（広島市安佐北区白木町大字井原・大字小越） 広島市三田市民農園（広島市安佐北区白木町大字三田） 広島市三国市民農園（広島市安佐北区安佐町大字久地）
(2) 指定管理者等 （公募により選定）	(1) 名称及び所在地 公益財団法人広島市農林水産振興センター （広島市安佐北区深川八丁目 30 番 12 号） (2) 指定期間 平成 27 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日 (3) 指定管理料の限度額（5 年間分） 2,389 万円

2 実地調査の実施状況

区 分	内 容
実施年月日	平成 30 年 2 月 19 日（月）、2 月 22 日（木）、2 月 28 日（水）及び 3 月 19 日（月）
実施内容	業務実施状況の確認、職員へのヒアリングを行った。

3 業務の実施状況

平成 29 年度の状況	市の評価
(1) 管理業務の実施状況	
ア 市民の平等利用の確保策の実施状況 (ア) 広島市市民農園条例等関係法令を遵守し、理由もなく市民の施設利用を拒んだり、不当な取扱いが生じないように、研修等により、職員に周知徹底を図り、市民の誰もが平等に利用できるように対応している。 (イ) 農園施設や空き区画状況、施設内で開催される都市農村交流イベント等の情報をホームページ等により提供している。	○
イ 事業の実施状況 次の事業を実施している。 (ア) 農作物の栽培体験のための場の提供 (イ) 都市と農村との交流の場の提供 (ウ) 農業及び農村に関する知識の普及啓発 (エ) 農業及び農村に関する情報の収集及び提供 (オ) その他市長が必要と認める事業	○
ウ 維持管理業務等の実施状況 次の業務を実施している。 (ア) 農園の使用許可に関すること。 (イ) 市民農園における集会等の行為の許可に関すること。 (ウ) 市民農園の施設及び設備の維持管理に関すること。 (エ) その他市長が定める業務	○

平成29年度の状況				市の評価
(2) 指定管理料等の収支状況				○
ア 平成29年度の状況				
区分	計画 (ア)	実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	
収入 (a)	1,088 万 2 千円	1,022 万円	△66 万 2 千円	
指定管理料	465 万 8 千円	465 万 8 千円	0 千円	
利用料金	622 万 4 千円	556 万 2 千円	△66 万 2 千円	
支出 (b)	1,088 万 2 千円	959 万 8 千円	△128 万 4 千円	
差引 (a) - (b)	0 千円 次年度繰越金(0 千円)	62 万 2 千円 次年度繰越金(62 万 2 千円)	62 万 2 千円 次年度繰越金(62 万 2 千円)	
(3) その他				
ア 利用者ニーズの把握及びそれを踏まえた管理運営の実施状況（指定管理者によるアンケートの実施等） 講習会やイベントの実施時に参加者に対しアンケート調査を実施し、把握した利用者ニーズを施設管理や事業プログラムの改善に反映している。				○
イ 個人情報保護への対応状況 個人情報保護規程、個人情報保護方針及び個人情報に関する運用マニュアルを作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
ウ 情報公開の実施状況 情報公開規程及び情報公開実施要領を作成し、職員への周知徹底を図ることにより、適切に対応している。				○
エ 緊急事態、不法行為等への対応状況（防災、防犯などの安全対策を含む。） 「防犯・防災マニュアル」を作成し、職員及び日常管理を行う地元の下三田地区・見張地区・三国地区市民農園運営委員会委員への周知徹底を図ることにより、利用者の安全対策や緊急事態への適切な対応を行っている。				○
オ 苦情・要望への対応状況 「苦情・要望対応マニュアル」を作成し、職員への周知徹底を図ることにより適切に対応している。				○
カ 配置人員及び職員研修の実施状況等 (ア) 配置人員（4月1日現在） 6人（各農園には地元の市民農園運営委員会の委員を管理者として配置している。） (イ) 職員研修の実施状況 a 安全運転講習会（10月19日） b 職員倫理研修（11月16日） c 健康管理研修会（12月14日） (ウ) 労働基準法等の遵守状況 雇用契約、賃金計算、労働時間管理について適正に実施しており、また、最低賃金額を遵守している。				○
キ 自己評価の実施状況 評価基準を作成し、利用者アンケート調査を踏まえて、自己評価を行っている。				○
業務の実施状況の評価				A

4 施設の利用状況

平成29年度の状況				市の評価	特記事項
ア 利用者数等				B	市民菜園に比べて利用料金に割高感があることなどから、数値目標が達成できなかった。 広報活動を積極的に行い、収穫祭といった各種イベントを実施するとともに、新規入園者確保のための入園体験イベントを新たに開催し利用促進を図った。 今後も、引き続き安価に体験できる区画の利用促進や広報活動の強化、各種イベントの充実により利用者を増やすとともに、新たに「高齢者いきいき活動ポイント」の付与等に取り組むことで一層の利用促進を図るよう指導した。
目標利用者数 (ア)	利用者数実績 (イ)	差引 (イ) - (ア)	達成率 (イ) / (ア)		
1万4,565人	1万2,375人	△2,190人	85.0%		
※ 前年度実績 1万2,205人 (増減率1.4%増) イ 利用促進策等の実施状況 (ア) 広報の充実 都市農村交流イベントや空き区画状況等の情報について、広報紙やホームページ、公民館等で提供したほか、市内のホームセンター10カ所に対して入園募集のチラシの配布を行い、PRに努めた。 (イ) 指定管理者の提案による取組 入園区画に隣接する空き区画に防草用ビニールシートを被覆するなど、入園者への不利益防止に努めた。 草花などの植栽を行い季節感のある環境づくりに努めた。 こまめに清掃するよう心がけ、安全で清潔感のある利用環境を維持できるよう施設管理を徹底した。 (ウ) 自主事業の実施 昨年度に引き続き、安価に体験できる区画を設け、利用促進を図った。 入園者の意見やニーズを組み入れながら、各種イベント(収穫祭、そば打ち、イモ掘り等)を実施したほか、新規入園者確保のための入園体験イベントを新たに開催し、魅力づくりに努めた。					

5 利用者の満足度

アンケート調査の実施結果等	市の評価	特記事項
市が実施したアンケート調査結果(標本数315件)では、サービス内容などの満足度については、満足が73.8%、不満が4.8%であった。	A	

6 評価

区 分	市の 評価	特記事項
評価（5段階評価）	4	
業務の実施状況	A	
施設の利用状況	B	
利用者の満足度	A	